学童保育のあ

のあだより1月号

住所：栄区桂台西1丁目30-7
Tel/Fax：０４５-４１０-８４０４
：gkdnoah@gmail.com
運営：特定非営利活動法人
のあインターナショナルスクール
URL：https//www.noah-is.jp/

今年は「学童保育のあ」の母体となっている本郷台キリスト教会の創立60周年の年です。60年前に一人の青年がクリスチャンとなって自宅を開放し、ドイツ人宣教師を招いて聖書研究を始めたのが本郷台キリスト教会の始まりです。その後、赴任してきた池田博牧師の内に二つのビジョンがありました。一つは「地域の必要に応える教会となる」というビジョン、もう一つは「世界に宣教師を送る教会となる」というビジョンでした。

地域の必要に応える教会となるために、まず自らが率先して実行する必要があると池田牧師は考え、地域を回って廃品回収をする働きを始めました。日曜日は礼拝、水曜日は祈祷会、そして残りの日は廃品回収をするようになり、教会員もその背中を見て育ちました。

このような流れの中で生み出された働きの一つが、「学童保育のあ」です。学童保育のあを語る上で欠かすことのできないお一人が、栢恵太さんです。栢さんは私たちよりほんの少し早く天国に行きましたが、彼はいつも、「教会で学童保育をしたい」と言っていました。子どもたちが大好きで、教会でいつも遅くまで子どもたちと遊んでいました。その彼が学童保育への思いを持ったまま天国に行ったので、神様もその願いを直接聞いて応えてくださったのでしょう。冨江里栄さん(トミー)と、恵太さんのお母さんの栢希恵子さん(かやちゃん)が学童開所のために立ち上がってくださいました。この方たちがいなければ、今の学童保育のあは存在しません。そして、私たちの出会いも与えられなかったことでしょう。

「学童に通う子どもたち」、「保護者」、「学童のスタッフ」、「学童をいろいろな形でサポートしてくださっている方々」。「学童保育のあ」で繋がっている奇跡のような出会いです。この出会いを大切にしたいと思います。学童に通う子どもたちにも、これが次の何かに繋がっていくと良いなと思っています。

2024年5月26日(日)は14時から15時半まで本郷台キリスト教会の60周年記念礼拝が鎌倉芸術館大ホールで持たれます。学童の子どもたちの出演も企画しています。ぜひ今から予定に入れていただき、ご家族みなさんでお越しください。学童保育のあに流れている神様の愛を体験していただけるように願っています。

2024年。今年も子どもたちがのびのびと健やかに成長されますよう、お祈りしています。

特定非営利活動法人のあインターナショナルスクール　理事長
本郷台キリスト教会　主任牧師
池田 恵賜

お習字(毛筆・硬筆)　ジェニーと遊ぼう
Renくんのサッカー教室　ジョイジョイタイム
フライングフライデー　お抹茶

1月 January

21	22	23	24 12・1月のお誕生日会	25	26	27
28	29	30	31			

2月 February

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
2月8日(水) 学童保育のあ記念日				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17 高学年キャンプ
18 高学年キャンプ	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29		

杉浦正明編著

児童精神医佐々木正美の「ことばの森」より

【欲求】p39～40

◆幼児期は欲求を我慢する力を育てるのではない。欲求を叶えてあげる育て方がいい。早く十分に欲求を満たされた子のほうが、依存心や依頼心から早く抜け出す。

◆子どもの欲求を家庭では拒否する必要はまったくない。家の外では欲求が通らないことがたくさんあるから。

クリスマス会

①毎月第4金曜日にはフライングフライデーと称して木島浩子先生が聖書のお話しをしに来てくれていますが、12/22はクリスマスにちなんで天使ガブリエルがイエスさまの誕生をマリヤに知らせた場面を素敵なお手製の影絵で見せてくれました。天使は神様からのメッセンジャー。浩子先生もモンゴルで天使に出会う不思議な体験をしたんですって…

②12/25(月)はジョイジョイチャペルのサムエル先生が来てくれました。光を巧みに使ったイエスさまのご降誕の美しいパネルシアターと、「びっくりクリスマス！」のメッセージ。一人一人、心の中の自分がしてしまったよくないこと、悲しいこと、苦しいことを小さな紙に指で書いて銀のお皿に入れました。サムエル先生が火をつけてフタをして…あら不思議、紙は消えておいしそうなキャンディーに変わっていました。びっくり！

第二部は有志による出し物。自慢のルービックキューブやけん玉を披露する子どもたちに、失敗すると励ましと応援の声が飛び、めでたく成功すると惜しみない感嘆の声と拍手が鳴り響きました。みんなやさしいいい子たちです。いつのまにか外は暗くなってきて、並べたキャンドルを前に「ジングルベル」や「きよしこのよる」を歌い、心のこもった手作りのプレゼントときれいにラッピングされたお菓子をもらって、みんなニコニコのクリスマス会でした。

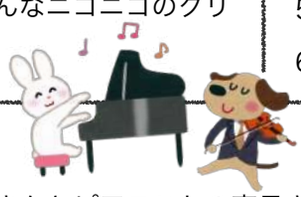
鎌倉ハイキング

♪♪ 行きはよいよい帰りは、、、毎年恒例になった年末の「鎌倉ハイキング」、同じ取り組みでもメンバーやその日の体調、お天気等で結果は違ってくることを実感しました。

往路はほぼ問題なく、昨年の振り返りが役立ちました（前後間を空けない）。源氏山に到着後頼朝像の前で記念撮影、これも順調。グループに分かれてのお弁当、楽しく仲良く食べました。

そして高校生男子スタッフ2人を巻き込んでの熱気ある鬼ごっこやドロケイが始まり、数人を除いてほぼ全員が参加、例年になく統一のとれた遊びが展開、飽きることなく続きました。約2時間後いよいよ下山の時刻、スタッフ1人、転倒で脚を痛めていて歩行困難、今後の動きを山の上と下で検討した結果、北鎌倉から電車バスで帰る組と帰りも全部歩く組に分かれ17:30頃徒歩組帰着。その後電車バス組も、無事全員戻ってきました。

往路復路完歩は11人でした。（1年生A、2年生B・C・D、3年生E・F、4年生G・H、5年生I、6年生J・K）



クラシックライブ

今回は、ヴァイオリニストの淵野さんとピアニストの高見さんが来てくださいました。普段は子どもたちの声でいっぱいのお部屋も、演奏が始まると一変し、学童中が綺麗な音で包まれていきました。今回は、子どもたちが一緒に参加する機会もあり、クイズに答えたり、タイミングを合わせてハンドベルを鳴らしてみたりと子どもたちも、日常ではなかなか聴く機会がない「クラシック」に触れて、とても貴重な経験となりました。

またヴァイオリンを習っている子が、今回は自分のヴァイオリンを持って来て、一緒に演奏する機会もいただけて感謝なことでした。周りの子どもたちは驚きを隠せない様子でした。

コンサートが終わった後も、この曲弾けますか？というようにみんな高見さんの周りに集まり、コンサートの余韻を楽しんでいました。